

学校教育目標「笑顔いっぱい ともに輝く小山台」



小山台

学校だより

6月号

令和5年5月31日

横浜市立 小山台小学校

つながりを大切に

副校長 佐々木 希

ホームページでも紹介しましたが、先日「全校たてわり遠足」を実施しました。1年生から6年生までの全ての学年が入っている「たてわりグループ」で活動する遠足です。本校では、「かかわり合う力」や「高学年のリーダー性」を育むことをねらいとし、年間を通して「たてわり活動」を行っています。さて、今回の「たてわり遠足」を通して「かかわり合う力」や「高学年のリーダー性」は育まれたのでしょうか。遠足後、児童からは次のような感想が出されました。

低学年…「また、同じグループで行きたい。」
中学年…「やさしく声をかけ合えた。」
高学年…「みんなが楽しめるように工夫して、楽しんでもらえたからよかった。」

高学年は、自分のグループの低・中学年の子どもたちが楽しめるようにと、前もって計画・準備をし、歩く時も遊ぶ時もお弁当の時も声をかけ、リードしていました。また、中学年は「やさしく声をかけよう」というめあてをもち、それを実行していました。だからこそ、低学年が「また同じグループで行きたい。」と思うほど楽しく関わり合うことができ、仲良くなったということでしょう。この遠足を通して、子どもたち同士のつながりが強くなったことは確かです。これからも、子どもたち同士のつながりを大切にしながら、つけたい力を見据えて、指導・支援を続けていきます。



グループごとに大きなかけ声をかけ、気分を上げて出発！ これも高学年がお手本となります。

グループ遊びの中で、中学年の子が、「1年生いけ！」と、1年生に応援の声をかけていました。



たてわり遠足には、「こや小 ボランティア」の方々も3名付き添っていただきました。「本当に6年生がしっかりしていて、ボランティアは必要なかったんじゃないかと思うくらいです。」とおっしゃっていただきました。子どもたちの頑張りをほめていただき、うれしいことです。しかし、地域のボランティアの方に見守られているからこそ、子どもたちはのびのびと活動できたとも言えます。子どもたち同士のつながりだけでなく、地域と学校のつながりがあることで、子どもたちはより力を伸ばしていくことができます。さらに、地域とのつながりは、地域社会の一員としての意識や地域への愛情の土台となるでしょう。小山台小学校を支えてくださる保護者の皆様や地域の方々とのつながりに感謝いたします。今後ともよろしく願っています。

子どもたちの学校生活の様子については、小山台小学校のホームページ「学校日記」に随時掲載しています。ぜひご覧ください。

